

震災関連死は生ませない!! 鳥取県中部地震 鳥取民医連・鳥取医療生協 合同対策本部ニュース

2016年11月3日

vol.13

発行元：鳥取民医連・鳥取医療生協
中部地震合同対策本部
連絡先：0857-24-6161

3日18時現在
被害・避難状況

◆人的被害 21人(重傷4、軽傷17) ◆住民避難 168人、
◆住宅被害 9,961棟(全壊2、半壊3、一部破損9,956) ◆公共土木施設被害 132カ所

集中行動
3日目

総勢137名で震災支援に取り組む

地震発生からちょうど2週間となる11月3日(祝)は、全国・8府県から81名の支援を受け、総勢137名の支援行動となりました。全日本民医連より久保田理事、医療福祉生協連より野本常務も支援に参加、激励をいただき、また愛媛からは医学生、看護学生も支援に駆けつけていただきました。組合員訪問行動では、訪問数338件、内、対話数238件。片づけボランティア、避難所訪問&炊き出し(まぜご飯と豚汁)のお届けなど、旺盛に取り組みました。

11/3 集中行動

県連・事業所別支援者数

島根15 岡山8
広島7 香川3
愛媛9 京都7
大阪13 兵庫17
民医連・医福連2
◆他県合計 81名
生協病院9 鹿野2
わかさ2 歯科5
すずらん2 鳥取本部2
米子1 保健企画3
メディ1 県連3
組合員14 対策本部12
◆鳥取合計 56名



▲朝のミーティングで挨拶する中田会長(鳥取民医連)、守山組合長(鳥取医療生協)、久保田理事(全日本民医連)、野本常務(日本医療福祉生協連)

地域の被害や生活状況・要求つかむ! 組合員訪問に115名参加

午前、午後合わせて40グループ115名で地域の組合員訪問を行いました。今回は訪問範囲を拡大し、被害の大きかった倉吉市の隣の三朝町、北栄町まで足を伸ばし、地域の被害や余震の心配、生活不安など状況を聞き取りました。聞き取りの中には、「地震後、また起こると不安になり夜も眠れず、アルコールを飲んで寝ている」、「65才男性で一人暮らし、4ヶ月前に誕生日を迎え年金満額支給の影響で収入が生活保護基準を上回り、生活保護を打ち切られて以降、通院しておらず高血圧治療を中断。血圧を測ると226/120と非常に高く、受診を促す」といった要フォローの方もおられました。

はじめは「大丈夫です」と言われる方も、徐々に不安な心の内をポツポツ話してくださる方がたくさんおられます。今後はフォロー訪問をしっかりと取り組んでいきましょう。





▲9:15 朝のオリエンテーションで被害状況やこの間の支援内容について説明する対策本部長の林専務



▲9:40 会館前の駐車場で訪問先の地図説明と訪問グッズを手渡し。倉吉在住の横川MSW（生協病院）が、地図説明や訪問後の聞き取りに大活躍！



▲12:00 昼食は、組合員さんに朝からご準備いただいたまぜご飯と豚汁。「手作りのお昼が温かくおいしくありがたかった」と支援者の方に大好評でした。



▲神戸健康共和国より対策本部へ義援金が贈られました。また大阪、愛媛の支援者の方からお菓子やみかんの差し入れをいただきました。ありがとうございました。



▲13:00 午後からは広島、愛媛などからの支援者が合流。愛媛からは医学生、看護学生も参加。「先日、熊本県に伺った際の状況と比べて被害は小さかったと思うが、被災者に与える心理的なダメージは変わりないと思った」と感想が寄せられました。



▲15:50 今日の支援行動を振り返るまとめ会。片づけボランティア隊からは、依頼を受けた90代独居の方のお宅がきれいになり「とても助かった」「組合員でよかった」と感謝されたことが報告されました。先週末の訪問行動を通じて受けた依頼で、聞き取り活動の大切さが共有できました。組合員の高塚理事からは、全国から集まっていた支援者の方への感謝と感動の思いが述べられました。今後も長いスパンで、継続して震災支援に取り組んでいきましょう。

支援者の皆さん、ご協力ありがとうございました！